

ISC2™

# 認定資格 維持

## ハンドブック



# 目次

ISC2認定資格維持ハンドブックの使用方法	3
カスタマーサービス	3
認定資格とメンバーシップを良好な状態に維持する方法	4
CPE要件	5
各認定資格のCPE要件	5
グループAおよびグループBのCPEクレジット	6
グループAクレジット：ドメインに関連する活動	6
グループBクレジット：専門能力育成	6
CPEクレジットの計算方法	7
複数の認定資格を維持する方法	7
CPEクレジットの監査	7
記録管理	8
異議申し立て手続き	8
CPEクレジットの繰り越し	8
猶予期間	8
要件を満たしていない場合	9
CPEカテゴリ	10
専門職への貢献（グループA）	10
教育（グループA）	12
専門能力育成（Bグループ）	13
独自性の高い業務経験（グループA）	13
ISC2 CPE活動	14
BrightTALKで開催されるISC2ウェビナーのCPEクレジット	16
CPE認定パートナー	16

# ISC2認定資格維持ハンドブックの概要と使用方法

**ISC2メンバーに登録いただき、ありがとうございます。**

本ハンドブックは、認定資格またはISC2のアソシエイト認定を維持するための要件、ポリシー、手順に関する情報を提供するものです。すべての認定資格保持者とアソシエイト認定者は、ポリシーおよびガイドラインを遵守することが求められます。

本ハンドブックには、ISC2が構築した専門能力育成活動やリソースの概要が記載されており、認定資格を維持するための継続的教育や能力育成を支援します。

## カスタマーサービス

ISC2メンバーシップ、特典、継続専門教育（CPE）ポータル、年間維持費（AMF）、プロフィール変更、イベントサポートに関する情報やサポートについては、[こちらからお問い合わせください](#)。



# 認定資格とメンバーシップを良好な状態に維持する方法

ISC2のメンバーまたはアソシエイトとして、認定資格とメンバーシップを維持するためには、CPEクレジットを取得し、年会費(AMF)を支払う必要があります。両要件により、認定資格の維持が保証されます。

ISSAP、ISSEP、ISSMP、CISSP、CCSP、CSSLP、CGRC、SSCPの認定資格を1つ以上保有するメンバーの場合、メンバーシップサイクルの1周年記念日とその後の毎年同じ日に、135米ドルのAMFを支払う必要があります。ISC2認定資格の保有数に関係なく、お支払いいただくAMFは1回のみです。

CC認定資格を保有するメンバーおよびISC2アソシエイトは、サイクルの1周年記念日とその後の毎年同じ日に、50米ドルのAMFを支払う必要があります。アソシエイトメンバーで、認定資格とメンバーシップの取得に必要なすべての経験条件を満たしている場合は、承認手続き完了時にアップグレード料として85米ドルを支払う必要があります。次年度以降のAMFは135米ドルとなります。CC保有者が追加のISC2認定資格を取得した場合も、同じアップグレード料金が適用されます。

3年間の認定サイクルが終了し、CPEクレジットとAMFの支払い要件が満たされると、メンバーは、自動的に新しいサイクルに再認定されます。追加の手続きは必要ありません。








1年間のアソシエイトサイクルが終了し、CPEクレジットとAMFの支払い要件が満たされると、ISC2アソシエイトとしての認定は自動的に更新され、新たな1年間のサイクルに更新されます。



# CPE要件

ISC2認定制度では、ISC2メンバーとして3年間の認定サイクルの間にCPEクレジットを取得し、[CPEポータル](#)を通じてCPEクレジットを提出する必要があります。ISC2は、認定資格維持のバランスを取るために年間最低推奨支払額を設定していますが、年間を通しての要件はありません。ただし、アソシエイトのステータス保持者は除きます。認定資格が有効なメンバーまたは停止中のメンバーがCPEを取得するには、適切な活動を完了する必要があります。認定資格が有効なメンバーまたは停止中のメンバーは、CPEクレジットを取得するために過去に合格した試験を再受験することはできません。

## 各認定資格の要件

認定資格	タイプ	推奨される 年間最低額	3年間の合計
	グループA グループAまたはB 合計	15 - 15	45 - 45
	グループA グループAまたはB 合計	30 10 40	90 30 120
 	グループA グループAまたはB 合計	20 10 30	60 30 90
 	グループA グループAまたはB 合計	15 5 20	45 15 60
  			
*CISSPを保有している場合	グループA	20	60
CISSPを保有していない場合	グループA	47	140

\*CISSPとISSAP、ISSEP、またはISSMPを保持している場合、CISSPの3年サイクルに必要なグループAのCPEクレジットの合計数のうち、20CPEクレジットは、ISSAP/ISSEP/ISSMPに直接関連している必要があります。これらの認定資格を複数取得している場合は、それぞれ20CPEクレジットを取得する必要があります。ISSAP/ISSEPおよびISSMPのCPE要件は、自動的にCISSP CPE要件にカウントされます。

認定	タイプ	年間最低額
	グループA	15
	グループAまたはB	-
	合計	15

## グループAおよびグループBのCPEクレジット

### グループAのクレジット：ドメインに関連する活動

グループAのクレジットは、保有する認定資格の特定ドメインを網羅する分野の活動に直接関連するものです。

これには、以下のような活動例が挙げられます：

- Courses、Certificateプログラム、Certificateトレーニングなど、ISC2からの教育機会を受講する
- サイバーセキュリティに関するホワイトペーパーを読む
- サイバーセキュリティに関する記事を掲載する
- ISC2 Security Congressなどのサイバーセキュリティ会議に参加する
- サイバーセキュリティに関連するプレゼンテーションの準備や情報について指導する（ISC2公式トレーニングコースで指導するインストラクターには適用されません）
- 通常の業務には含まれない、職務に関連した独自性の高いプロジェクトを遂行する
- プロジェクトに向けた調査や認定試験の準備に関連する自主学習を進める
- 政府、公共部門、その他の慈善団体におけるセキュリティ関連のボランティア活動に参加する
- サイバーセキュリティ（または関連分野）の高等教育課程を履修する

### グループBクレジット：専門能力育成

グループBのクレジットは、各認定資格に関連するドメイン以外の、総合的な専門スキル、教育、知識、またはコンピテンシーを向上させる一般的な専門能力育成活動を完了した場合に取得できます。これには、プロフェッショナルスピーキングや一般的なマネジメントコースなどのプログラムが含まれます。ドメインに直接適用されるものではありませんが、ISC2は、こうしたスキルがすべての専門家の成長に不可欠であると認識しています。

注：グループBのCPEクレジットは、ISC2アソシエイトおよびCC認定資格保持者には適用されません。

これには、以下のような活動例が挙げられます：

- リーダーシップ会議など、セキュリティ以外のイベントに出席する
- エモーショナル・インテリジェンス・トレーニングなど、セキュリティ教育以外のコースに参加する
- セキュリティ以外のプレゼンテーション、講義、トレーニングの準備を行う
- セキュリティ以外の政府、民間企業、慈善団体委員会に参加する
- 委員会活動、記事の執筆、コミュニティプロジェクト、サイバーセキュリティに関する教育提供などのボランティア活動に参加する。

## CPEクレジットの計算

通常、1時間の活動につき1CPEクレジットを取得できます。CPEクレジットは、0.25、0.50、0.75、1.00、1.25というように、0.25単位で報告することができます。ただし、学習の深さや継続的な取り組みの度合いによって、より多くのクレジットに値する活動もあります。CPEクレジットは、収入を得ている通常の職務上の活動では取得できません。メンバーまたはアソシエイトが1回の活動で申請できるCPEクレジットの上限は40クレジットです。

CPE活動が複数日にわたって行われた場合は、終了日が認定サイクルの資格判定に使用されます。たとえば、活動が2026年11月1日に開始され、2026年12月5日に終了した場合、CPEクレジットは2026年12月5日時点で有効なサイクルに適用することができます。

## 複数の認定資格を維持する方法

複数のISC2認定資格を保持している場合、提出したグループAのCPEクレジットは、完了日時点で関連するドメインを持つすべての有効な認定資格に自動的にカウントされます。

活動がドメイン関連の活動として他の認定資格と関連していない場合、CPEポータルで「上記のいずれにも該当しない」を選択すると、グループBのクレジットが記録に適用されます。

ISC2によってアカウントに追加されたCPEクレジットは、有効なサイクル内のすべての認定資格に自動的に適用されます。ただし、猶予期間中の認定資格には適用されません。

同じ活動をCPEポータルに複数回入力しないようにしてください。

## CPEクレジットの監査

ISC2は、メンバーおよびアソシエイトが提出したCPE活動に対して、無作為監査を実施しています。これは、ISC2認定資格の完全性を維持し、米国適合性認定機関（ANAB）のISO/IEC規格17024への準拠を保証する重要なプロセスです。

監査対象に選ばれた場合、申請プロセス中に既に提出していない限り、活動を証明するために必要な書類についての指示が電子メールで届きます。出席を証明する書類、または該当する活動の簡易説明書をまだ提出していない場合は、これを提出する必要があります。認定資格を維持するには、メンバーは、監査要求に応じ、90日以内に必要な情報を提供しなければなりません。ご不明な点は、[カスタマーサービス](#)までお問い合わせください。

## 記録管理

提出プロセスのベストプラクティスとして、CPEポータル「Supporting Documentation（証明書類）」セクションから、CPE活動の証明を提出することをお勧めします。

CPEクレジット取得の証明は、受講成績証明書、授与された卒業証書、出席証明書または領収書、講演または指導で使用した調査/準備ノート、公式会議の議事録の写し、または名簿/登録資料の文書といったさまざまな形式で提出できます。

書籍や雑誌のCPEクレジットについては、書籍や雑誌、販売領収書、請求書、図書館記録など、「所持を証明するもの」を保管しておいてください。証明には少なくとも、タイトルと、書籍の場合は著者名とISBN番号、雑誌の場合は出版社が明記されている必要があります。

監査に備えて、現在の認定サイクルの終了後少なくとも12か月間は、取得したクレジットの証明となる書類を保管しておくことが推奨されます。

## 異議申し立て手続き

CPE活動の提出が却下された場合、却下から90日以内にその決定に対して異議申し立てを行う権利があります。[お問い合わせフォーム](#)に、異議申し立ての理由を明記し、検討の対象となる関連書類を添えて提出してください。提出後、異議申し立ては検討され、適切に解決されます。

## CPEクレジットの繰り越し

CPEクレジットの繰り越しは、各認定資格に対して毎年推奨される年間CPEクレジット数に制限されます。繰り越しできるのはグループAのCPEクレジットのみであり、3年間の認定サイクルの最後の6か月以内に、対象となる認定に必要なCPEクレジット数を超えて取得する必要があります。たとえば、CISSPの場合、前回の3年間の認定サイクルの最後の6か月以内に取得したグループAのCPEクレジットであれば、最大40クレジット（必要となる120クレジットを超えた分）まで繰り越しができます。このCPEクレジットは自動的に繰り越され、次の認定サイクルの初年度の年間推奨CPEクレジットを満たすことができます。

## 猶予期間

認定またはアソシエイトサイクルの終了日に達した時点で、CPEクレジット要件を満たしていない場合は、すべてのCPEクレジットの提出を完了できるよう、90日間の猶予期間が与えられます。この90日間では、CPEクレジットの取得と提出の双方を行うことができます。

## 要件を満たさない場合

3年間（アソシエイトの場合は1年間）のサイクル終了後90日以内にCPE要件を満たさない場合は、資格/認定が一時停止されます。ステータスが停止中の間は、認定を申請することはできず、デジタルバッジは無効となり、オンラインの[メンバー認証](#)ツールで詳細を確認することができなくなります。

ISC2は、資格/認定が一時停止されたことを電子メールで通知します。期限までに認定資格更新要件を満たせない可能性がある場合は、[カスタマーサービス](#)までご連絡ください。

認定資格の停止状態は、最長2年間継続できます。2年を経過すると、認定資格とメンバーシップのステータスは終了し、メンバーシップはすべて取り消されます。認定終了となったメンバーが復帰を希望する場合は、復帰を希望する認定資格の各ドメインについて少なくとも5CPEクレジットの提出が求められ、さらに主たる業務ドメインで40CPEクレジット、合計120CPEクレジットを提出する必要があります。認定終了となったメンバーが復帰するためのCPE活動は、12か月以内に取得しなければなりません。認定終了となったアソシエイトは、再試験を通じてのみ 復帰できます。認定終了となった認定メンバーは、再試験によって認定資格の復帰を求めることもできます。

メンバーまたはアソシエイトとして、認定が停止または終了となった場合、[カスタマーサービス](#)に連絡して異議申し立てを行う権利があります。



# CPEカテゴリ

CPEクレジットは、さまざまな学習活動を通じて取得することができ、CPEポータルで、以下のカテゴリに申請できます。

## 専門職への貢献(グループA)

認定資格のドメインに関連するトピックで、新規コンテンツ作成に関連する活動

CPEポータルに記載されている認定活動：

- セキュリティ専門組織での役員業務
- 試験開発におけるSME（主題専門家）業務
- 政府/民間/公共部門/慈善団体委員会での活動
- 認定委員会のセキュリティ標準開発への参加
- プレゼンテーション/講義/トレーニングの準備
- ウェビナー、ポッドキャスト、カンファレンスでのプレゼンテーション準備
- トレーニングセミナーや教室で使用する教材の新規作成または更新
- パネルディスカッションでのSME業務
- 執筆、調査、出版

ISC2の「専門職への貢献」カテゴリで対象となるCPE取得活動のリストは、14ページをご参照ください。



各活動と、活動に適用される最大CPEクレジット数は、以下のとおりです：

活動	最大CPEクレジット数
書籍 - 著者	1冊につき40
書籍 - 共著者	1冊につき20
書籍 - 編集者	1冊につき10
書籍 - 章のみ - 著者	1章につき20
書籍 - 章のみ - 共著者	1章につき10
書籍 - 章のみ - 編集者	1章につき5
記事 - 著者	1記事につき20
記事 - 共著者	1記事につき10
記事 - 編集者	1記事につき5
プロフェッショナルブログ - 著者	1ブログにつき10
プロフェッショナルブログ - 共著者	1ブログにつき5
プロフェッショナルブログ - 編集者	1ブログにつき2
ホワイトペーパー - 著者	1ホワイトペーパーにつき10
ホワイトペーパー - 共著者	1ホワイトペーパーにつき5
ホワイトペーパー - 編集者	1ホワイトペーパーにつき2
トレーニング準備：1日コース	1トレーニングにつき2
トレーニング準備：2日間コース	1トレーニングにつき5
トレーニング準備：5～7日間コース	1トレーニングにつき10
既存トレーニングの準備：セメスター（12週間以上）	1トレーニングにつき20

監査時に受理される証明書類：出版物のコピー、講演または指導用の研究/準備ノート、教材サンプル、コースアジェンダなど。対象団体からの書簡または証明書、または参加を証明する会議議事録。

## 教育(グループA)

教育コンテンツに関連する活動で、トピックが保有資格のドメイン（複数可）と一致しているもの。

CPEポータルに記載されている認定活動：

- 書籍、雑誌、ホワイトペーパー
- 講座、セミナー - その他
- 高等教育コース
- 業界会議
- 情報セキュリティ専門家協会支部会議
- ISC2認定コース
- ISC2継続教育コース
- オンラインウェビナー、ポッドキャスト、その他のオンライン資料
- ベンダープレゼンテーション

ISC2の「教育」カテゴリで対象となるCPE取得活動のリストは、14ページをご覧ください。

各活動と、活動に適用される最大CPEクレジット数は、以下のとおりです：

活動	最大CPEクレジット数
自主学习：書籍	1冊につき5
自主学习：雑誌	1誌につき5
自主学习：ホワイトペーパー	1ホワイトペーパーにつき1

監査時に受理される証明書類：受講成績証明書、授与された卒業証書、出席証明書または領収書、公式会議の議事録の写し、名簿/登録資料の文書。

上記の修了証明書をお持ちでない場合は、何を学んだかを250字以内で概説し、修了証または出席証明書を提出してください。

## 専門能力育成(グループB)

マネジメント、対人コミュニケーション、プロジェクト計画、チームビルディングなど、専門スキルの向上に関する活動。こうした活動は、サイバーセキュリティまたは保有資格内のドメインに直接関係している必要はありません。

- チャプターの結成または運営
- セキュリティ関連以外の教育講座、セミナー
- セキュリティ業界以外の会議とイベント
- セキュリティ関連以外の組織/委員会
- セキュリティ関連以外のプレゼンテーション/講義/トレーニングの準備

1回のエントリーで取得できる最大CPEクレジット数は、5ページに記載されているグループBの3年間の認定要件を超えることはできません。

監査時に受理される証明書類：対象組織からの書簡、証明書、その他文書

注：アソシエイトおよびCC認定資格のみを保有するメンバーは、要件を満たすためにグループBのCPEクレジットを利用することはできません。

## 独自性の高い業務経験(グループA)

アソシエイトまたはメンバーとして、通常の勤務時間中に独自性の高いプロジェクト、課題、活動、演習に従事した場合、グループAのCPEクレジットを取得することができます。独自性の高いプロジェクト、任務、活動、または演習は、通常の（または日常的な）職責や職務内容の範囲外でなければなりません。

1回のエントリーで取得できる最大CPEクレジット数は10クレジットまでとします。

監査時に受理される証明書類：独自性の高いプロジェクトを証明する書類、またはプロジェクトや活動を要約した250字以内の簡易説明書。

## ISC2 CPE活動

以下のリソース、学習プログラム、参加機会は、継続的な専門能力育成を念頭に置いてISC2が開発したものです。認定資格が有効なメンバーまたは停止中のメンバーがCPEを取得するには、適切な活動を完了する必要があります。認定資格が有効なメンバーまたは停止中のメンバーは、CPEクレジットを取得するために過去に合格した試験を再受験することはできません。これらの活動の大半に対するCPEクレジットは、メンバーアカウントに自動登録され、監査免除\*となります。

ISC2の活動	CPEカテゴリ	グループ	CPE数
専門家育成コース	教育		
証明書	教育	A	証明書1枚につき15以上
コース	教育	A	各コース0.5～15
公式認定教育	教育	A	各コース30～40
イベント	教育		
セキュリティ会議	教育	A	1時間につき1
安全イベント	教育	A	1時間につき1
注目イベント	教育	A	1時間につき1
標準・実践サイバーセキュリティ BoKアップデートワークショップ	専門職への貢献	A	1時間につき1
ウェビナー	教育		
セキュリティブリーフィング - アジア・太平洋地域	教育	A	45～60分につき1
セキュリティブリーフィング - 北米	教育	A	45～60分につき1
セキュリティブリーフィング - 欧州・中東・アフリカ	教育	A	45～60分につき1
ナレッジボールド	教育	A	45～60分につき1
シンクタンクウェビナー	教育	B	45～60分につき1
会員チャンネル	教育	A	45～60分につき1
CPEパートナーイベント/コース	教育	A/B	1時間につき1
ニュース・インサイトオンライン出版	教育		
クイズ	教育	A	クイズ1問につき2
コンテンツ開発	専門職への貢献	A	1時間につき1
チャプター会議	専門職への貢献	A	1時間につき1
試験問題開発	専門職への貢献	A	1時間につき1

ISC2の活動	CPEカテゴリ	グループ	CPE数
ボランティア - 表彰	専門職への貢献		
チャプター表彰賞審査委員会	専門職への貢献	B	1時間につき1
グローバル功績賞委員会	専門職への貢献	B	1時間につき1
ボランティア - グローバルイベント	専門職への貢献		
イベント計画委員会	専門職への貢献	A	1時間につき1
イベント講演者	専門職への貢献	A	1時間につき1
ボランティア - 知識の共有とコンテンツ	専門職への貢献		
インサイト貢献者	専門職への貢献	A	1時間につき1
教育ボランティアコンテンツ貢献者	専門職への貢献	A	1時間につき1
ボランティア - リーダー	専門職への貢献		
役員	専門職への貢献	A	年間40
チャプター諮問委員会	専門職への貢献	B	1時間につき1
チャプター役員	専門職への貢献	B	1時間につき1
ボランティア - サイバーセキュリティ・教育センター	専門職への貢献		
理事会	専門職への貢献	B	1時間につき1
コンテンツ開発	専門職への貢献	A	1時間につき1
サイバーセキュリティヘルスチェックボランティア	専門職への貢献	A	1時間につき1
安全・安心なオンラインボランティア教育者	専門職への貢献	A	1時間につき1
安全・安心なオンライン翻訳者	専門職への貢献	A	1時間につき1
奨学金審査委員	専門職への貢献	B	合計2～10

\*自動提出されたCPEクレジットを正確に記録するために、関連する登録フォームまたはCPE活動が行われるプラットフォーム（BrightTALK、Secure Eventなど）にメンバーIDを入力することが不可欠です。メンバーIDを追加できない場合は、必要な証明書類を添付のうえ、CPEクレジットを提出してください。

## BrightTALKで開催されるISC2ウェビナーのCPEクレジット

BrightTALKで開催されるISC2ウェビナーのCPEクレジットを正しく認定するためには、ISC2 BrightTALKチャンネルのウェビナー初回登録時に、ISC2メンバーIDを追加することが不可欠です。ウェビナーを開催するチャンネルにメンバーIDが追加されておらず、活動をCPEクレジットとして自動的に登録したい場合は、以下の手順に従ってください：

- 既存のBrightTALKアカウントを削除する
- 新しいアカウントを作成する
- 登録プロセスでメンバーIDを追加する

または、既存のBrightTALKアカウントを保持することもできます。この場合、BrightTALKアカウントの視聴履歴セクションからダウンロード可能な視聴証明書を添付することで、CPEクレジットを個人的に提出することができます。

## CPE認定パートナー

ISC2は、主要なセキュリティ組織や技術革新者と提携し、メンバーがCPEクレジットを取得しながら自身の専門能力育成の道を歩めるよう支援しています。

認定CPEパートナー（またはサードパーティサブmitter）を通じて取得したCPEクレジットは、メンバーに代わってISC2に提出されます。メンバーまたはアソシエイトとして、認定を受けたサードパーティCPEパートナーにISC2メンバーIDを提供する必要があります。活動日から6週間以内にCPEクレジットが計上されない場合は、認定を受けたCPEパートナーに直接お問い合わせください。重複や記入漏れを含め、CPEクレジット記録が正確かどうかを確認することは、メンバーまたはアソシエイトとしての責任です。メンバーおよびアソシエイトに代わってCPEクレジットを提出することを許可されたパートナーのリストについては、[ISC2.org/members/cpe-partners](https://isc2.org/members/cpe-partners)をご覧ください。

CPEクレジットを申請するには、[CPEポータル](#)にログインしてください。

ハウツーとよくある質問（FAQ）に関する動画は、[ISC2 YouTubeチャンネル](#)でご覧いただけます。

ISC2 | Your Future. Secured.

ISC2.org

